

## 東日本大震災の被害状況・情報などについて（第4報）

3月22日 18時00分現在

全国建設関連産業労働組合連合会 調べ

組合名	支部・分会	連絡日	事務所の状況	組合員などの被害・被災状況	今後の状況	その他
全アジア航測	仙台	3/17	・仕事に支障を及ぼすPCなどの破損は1件（部分的なデータ復旧はできた）。 ・電気・水道は復旧。ネット回線は繋がりにくい状況（一応仕事はできる）。	組合員と家族で負傷・死亡者はいない。 【北海道・東北ブロックの組合員状況】	・「福島原発の放射能漏れ事故」のため、職員間に危機感がひろがっている。メンタルケアが必要な職員も出てきている。 ・職員は社会貢献という責任感で出社している状況。	・原発の状況がどのような状態になったら、自宅待機・外出自粛とするのか会社側の考えを明確にして欲しい。 ・具体的な対処方法も決めて欲しい。
	アドテック		・資料を預けている倉庫が釜石にあり、津波にやられた可能性あり（実態は不明）。 ・電気・水道は復旧。ネットも16日には復旧したもよう。	・職員の親族で死亡された方あり。 ・緊急雇用で十数名を雇っているが、全員とは連絡が取れていないとのこと。		
セントラルC	東北	3/18	・電気・水道は復旧済み ・散乱した書類関係を整理中 ・ビル内・廊下の壁(石膏ボード)が剥がれる、階段にヒビが入るなどの被害	・組合員全員の無事を確認済み ・一部家族に不明あり	順次通常業務を開始する予定	燃料の入手が緊急の課題
パシフィックC	仙台	3/18	・オフィスビル本体の破損等はなし。ただし、エレベーター2台のうち1台が使用不可。 ・多くの棚が倒れ、書類、食器類が散乱。 ・サーバーが停止(3/18復旧)。	・社員全員(アルバイトを含む)の無事を確認(3/12正午)。 ・発災時に在社していた社員にケガなし。外出者も無事。 ・電気・ガス・水道の供給に支障をきたしている。特にガスの復旧は長時間と思われる。	・3/14(月)より、9時～17時で勤務。 ・今後は災害復旧にあたる予定。	物資が不足している
中央開発	東北	3/18	・建物に倒壊はないが、一部張り出している箇所において、基礎・支柱からずれている。 ・棚が倒れ、書籍が散乱。パソコン類がデスクから落下。 ・2階の床に亀裂を多数発見。	・当日現場に出ている者もいたが、無事を確認。 ・人的被害はないが、家の中の物が倒れる、壁に亀裂が入る等の被害があった。	現在の事務所を移転する予定で少なくとも1ヶ月以上かかる	現在は、災害対応、現業に分かれ作業中であるが、建物が危険のため、各自の家で作業している。
復建技術		3/21	・本社(仙台):大規模な建屋被害なし。室内大型ロッカーの転倒、PCの破損等あり。 ・青森・秋田・岩手・福島・山形の各支店:大規模被害なし。 ・その他事業所:被害なし。	・社員(非組合員を含む)の死亡・負傷報告なし。 ・社員のご家族に死亡・行方不明報告あり。 ・自宅の被害を受けた方多数。避難所生活を送っている社員もいる。 ・特にJRの被害が大きく、仙台エリアの路線がほとんど運休しているため、通勤困難な社員も多い。	・通勤可能な者から順次復帰し、通常業務、災害対応に追われている。災害査定に向けた災害復旧支援業務の依頼も入りつつあり。 ・今回の震災復興は長期戦になると予想し、健康面を考慮し無理な勤務を行わないよう、社長通達が出た。	・組合として、社員(非組合員含む)に対して出来る限りの支援を行っていく考え(具体策は検討中)。
サンコーC	東北	3/21	・東北支店内のPC、書類等は転倒・散乱するものの、大きな異常はない。 ・ビル自体のクラック・剥離が点在。構造的な問題はない模様。	・各人とも、自宅の倒壊等もなく、怪我もない。 ・仙台市内は、電気の復旧は完了しているが、一部で水道が断水。ガスは数ヶ月の見通し。	・ガソリンが圧倒的に不足しているため、周辺の調査が不十分な状態。 ・現時点においては、東北地質調査業協会主導のもと、宮城県内の急傾斜・土砂流・地すべり危険箇所の被災状況を確認する。	・3/21(月)からも1週間から10日程度はガソリンが不足する見込み。 そのため、行動が制限される可能性が高い。